

令和2(2020)年度栃木県土地利用型園芸コンクール 受賞者一覧

(受賞区分ごとに順不同、敬称略)

受賞区分	氏名	市町名	作物名	水田での作付面積	選定理由
大賞	株式会社コバヤシファーム	鹿沼市	こまつな、ほうれんそう、ねぎ	1,350a (前年:600a)	○地域の信頼を得ながら着実に農地の集積・集約を進めるとともに、若手農場長の育成や社員の確保、外国人実習生の受入れなどにより、前年の2倍以上の生産拡大を図るなど、他の模範となるような特に優れた取組と認められる。
大賞	株式会社Fattoria di 赤坂	足利市	キャベツ、ねぎ、露地アスパラガス	202a (前年:105a)	○従来の米麦、施設アスパラガスの経営に加え、複数品目の露地野菜を導入し、年間を通じた安定生産や労働の平準化を図っている。また、足利市内の6つの町内で農地を集積し、地域農業の担い手としても活躍するなど、他の模範となるような特に優れた取組と認められる。
審査委員特別賞	古谷 康典 氏	芳賀町	たまねぎ	200a (前年:180a)	○定植機やピッカーなど労力を軽減する機械を導入し省力化を図るとともに、運搬用のコンテナやフォークリフトの導入など出荷調整への省力化にも力を入れている。また、自らの酪農経営の副産物である有機堆肥を活用するなど、他の模範となるような特徴的な取組と認められる。
審査委員特別賞	株式会社和みの社	さくら市	じゃがいも、さつまいも、にんじん、しょうが、なす	1,249a (前年:978a)	○さつまいもの生産を着実に拡大するとともに、高付加価値化を図るため、さつまいもを干し芋に加工し、ブランドとして一定の評価を受けるなど、着実に販売額を伸ばしている。また、労働生産性を上げるため、品目・作業ごとにマニュアル化するなど、他の模範となるような特徴的な取組と認められる。
優秀賞	JAうつのみや ねぎ専門部河内支部 (白沢地区)	宇都宮市	ねぎ	759a (前年:669a)	○播種機・定植機の共同購入や共同利用により、作業軽減に取り組むとともに、栽培技術の向上のため、現地検討会等の開催やベテラン生産者による新規栽培者の受け入れなど、他の模範となるような地域の優れた取組と認められる。
優秀賞	増山 光功 氏	小山市	ブロッコリー、レタス、かぼちゃ	280a (前年:260a)	○種苗会社の品種を集めた比較栽培や箱詰め方法の改善による省力化に取り組むなど、産地の拡大のため、JAおやまブロッコリー一部会長として、先導的な役割を果たしており、他の模範となるような地域の優れた取組と認められる。
優秀賞	小山田 哲也 氏	大田原市	ねぎ	260a (前年:200a)	○ねぎの主要な作業について機械を導入し省力化を図るとともに、排水対策や病害虫防除などにより上位等級比率を増加させ、販売単価の向上を図っている。また、地域貢献の一環として「大田原市地域おこし協力隊」を研修生として受け入れるなど、他の模範となるような地域の優れた取組と認められる。